

2018/05/22 中間発表

ゴミ問題を解決しよう そだね↑

都市計画実習

ライフスタイルと環境

担当教授: 甲斐田先生

岸裕希奈 熊谷兼人 塩井徹弘

瀬川遥子 田代智之

戸田理香子 弘津陽介



1.問題提起

2.筑波大学ゴミ現状

3.筑波大生のゴミ認識

4.調査目的と内容

5.今後の取り組み

地球温暖化

大気汚染

環境問題と聞いて何を思い浮かべますか？

オゾン層破壊

海面上昇

ゴミ問題

ごみ問題の影響

日本のゴミ焼却量はヨーロッパ環境先進国の10倍以上で、**ダイオキシン排出量は世界一**



→がん発生リスクアップ

ごみ問題へのアプローチ

〈3 R〉

Reuse: 何回も繰り返し使う

Reduce: ごみそのものを減らす

Recycle: 分別して再び資源として使う




りてゆーす
Reduce



りゆーす
Reuse



りさいくる
Recycle

- 
1. 問題提起
 2. 筑波大学ゴミ現状
 3. 筑波大生のゴミ認識
 4. 調査目的と内容
 5. 今後の取り組み



筑波大学が排出しているごみの量

➡ つくば市の **約8%**

ごみ廃棄にかかる費用
(病院地区、東京キャンパス含む)

¥5021万/year

大学構内の廃棄物処分状況

種類	処分量(kg)
	H28
可燃物	575,554
不燃物	14,713
ビン	8,360
ペットボトル	0
缶	0



リサイクル

大学構内のごみ箱の状況



3C棟1階のごみ箱

- ・分別：可燃ごみ・不燃ごみ・缶・ビン・ペットボトル
- ・ポスターは小さく見づらい
- ・分別するゴミ箱の順番は箇所によってバラバラ

写真：撮影者(班員)
撮影日時(2018.04.20)

大学構内のごみ箱の状況

エコステーション

- 課外活動学生団体による分別作業
→ 約20の団体が参加
- 分別促進のポスター作成



写真: 筑波大学「エコステーション」プロジェクト facebook
筑波大学HP「筑波大学の環境への取り組み」

大学構内のごみ箱の状況


エコステーション

- ・H22から開始
- ・古紙、ペットボトル、缶を回収
→リサイクル

資源ごみの
廃棄コスト

¥約870万円/年



- 
1. 問題提起
 2. 筑波大学ゴミ現状
 3. 筑波大生のゴミ認識
 4. 調査目的と内容
 5. 今後の取り組み



筑波大生はどう思っているのか

【調査前聞き取り調査】

対象人数：50人

期間：2018/05/01～05/08

内容：環境問題への関心

ゴミに対する現状の行動事実
筑波大生に有効な対策など

筑波大生はどう思っているのか

【調査前聞き取り調査】

対象人数:50人

期間:2018/05/01~05/08

内容:環境問題への関心

ゴミに対する現状の行動事実

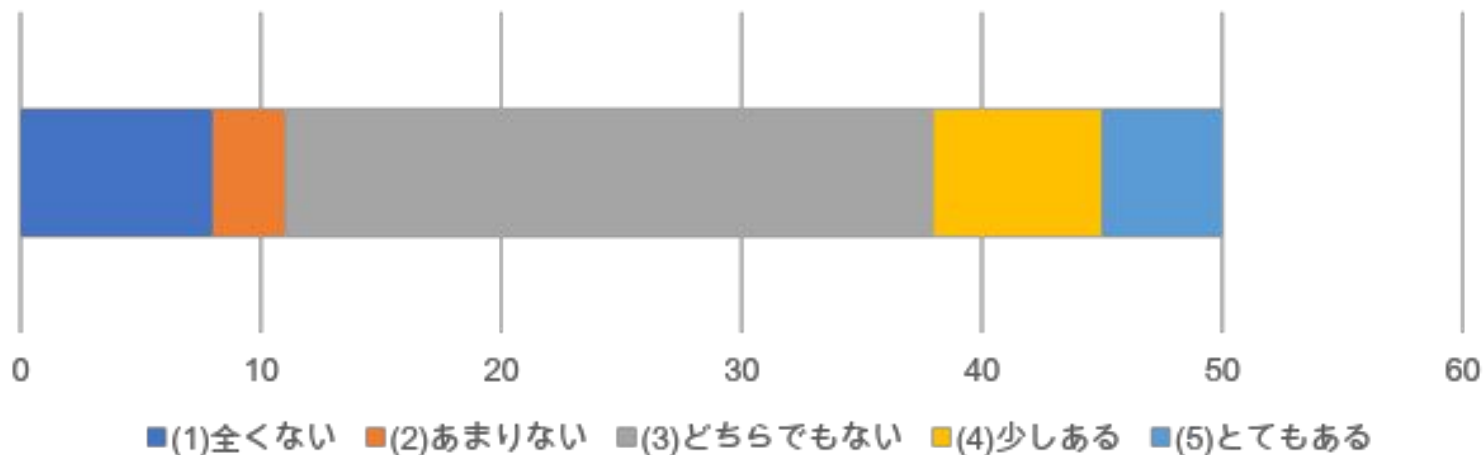
筑波大生に有効な対策など

アンケート結果

筑波大生の特徴①

ゴミ問題の認識は高いが減量の意識が低い

減らす意識



アンケート結果

筑波大生の特徴②

減量意識のある学生も減量“行動”に至っていない

問. 現在行っている減量行動は何か

最も多かった回答は

→「分別」「リサイクル」

3Rとは(再掲)

Reuse(何回も繰り返し使う)

Reduce(ごみそのものを減らす)

Recycle(分別して再び資源として使う)

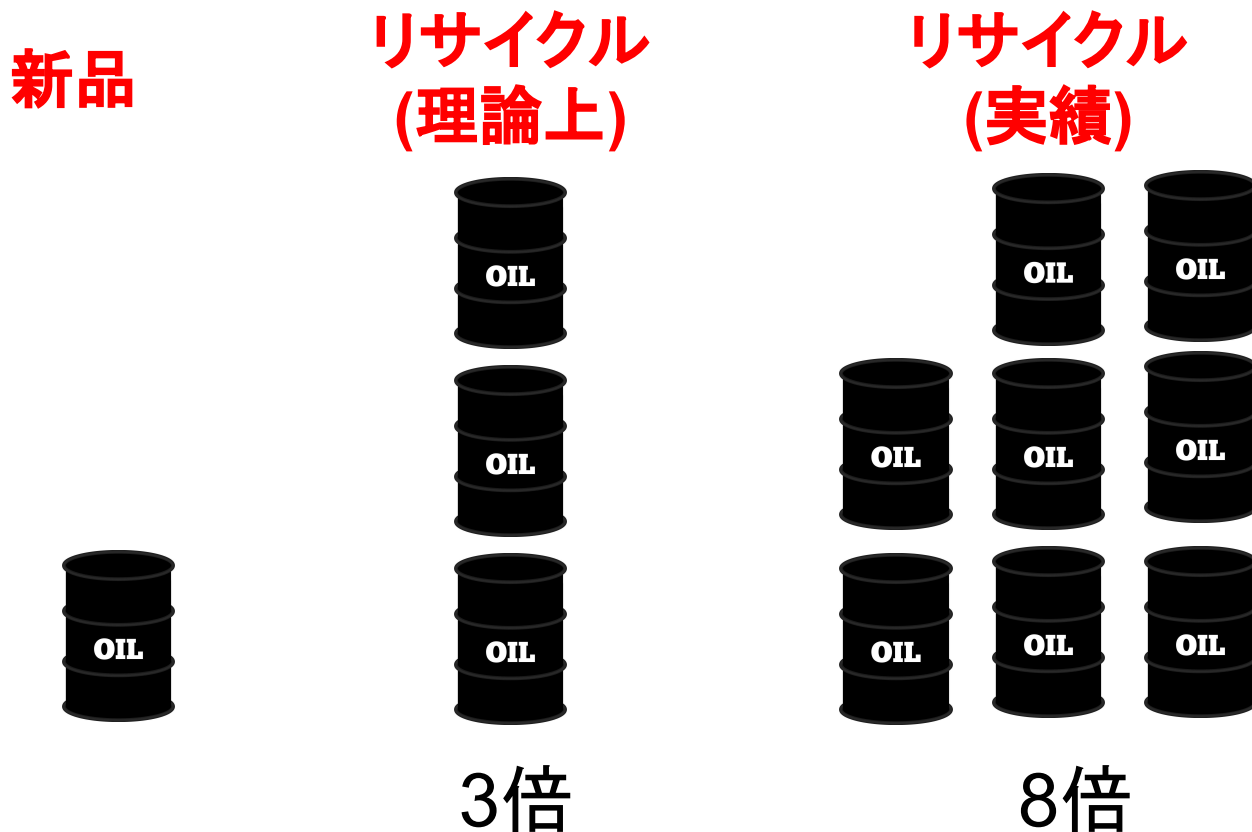


筑波大生は、
分別・リサイクルを
ゴミ減量方法として広く
認識している可能性がある

リサイクル/分別 ≠ ごみの減量活動

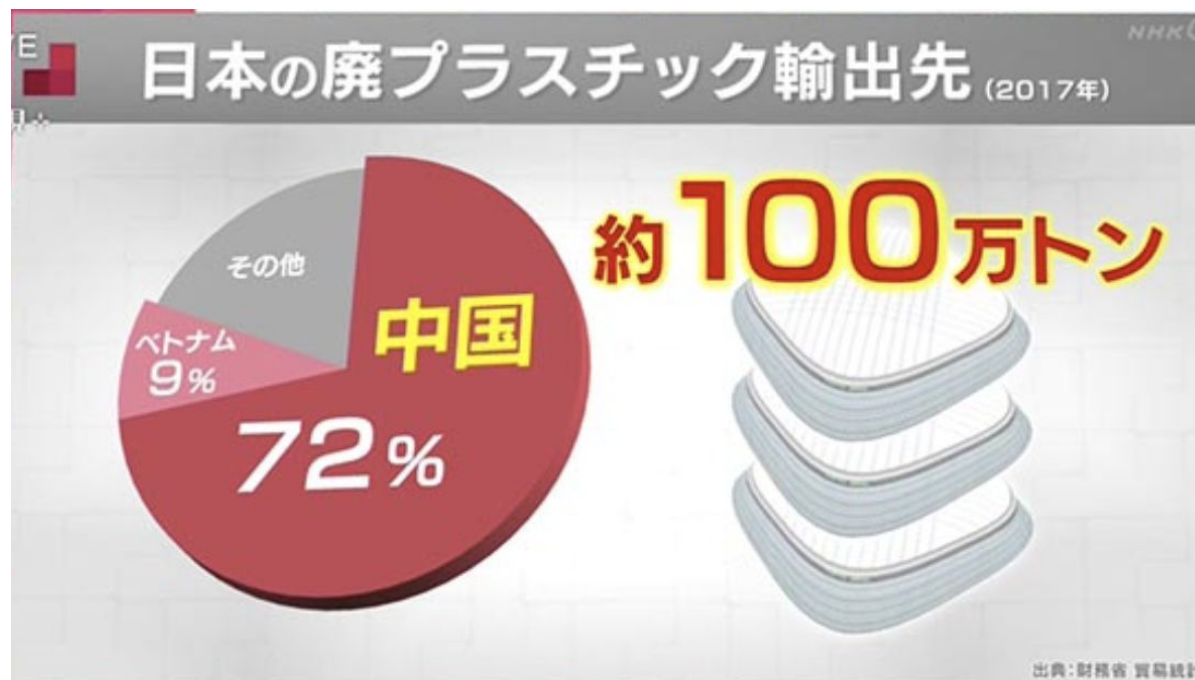
リサイクルの落とし穴


主張①:リサイクルは効率的ではない



リサイクルの落とし穴

主張②:リサイクルの限界 中国で廃プラスチックの受け入れ廃止



- 
1. 問題提起
 2. 筑波大学ゴミ現状
 3. 筑波大生のゴミ認識
 4. 調査目的と内容
 5. 今後の取り組み

目的

ゴミ減量行動の誤解を解き、正しい
ごみ問題の改善を図る



(6ヶ月間で出たゴミの量)

写真:MY FIRST SIX MONTHS LIVING ZERO WASTE

“Reduce”を浸透させたい

仮説設定

1. 筑波大生は、ごみ問題に対してリサイクルの認識がもっとも大きい
2. 筑波大生のごみ減量活動には、同調性が影響を与える

検証方法

1. 筑波大生は、ごみ問題に対して
リサイクルの認識がもっとも大きい

→ 質問紙調査

5Rにおいて知っているか・解決に有効
か・行っているかの項目を用意

第一回質問紙調査

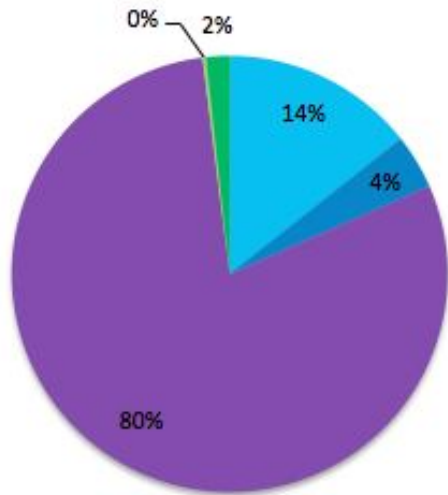
対象：国際総合学類・社会工学類の
1~3年生

期間：2018/05/17.18

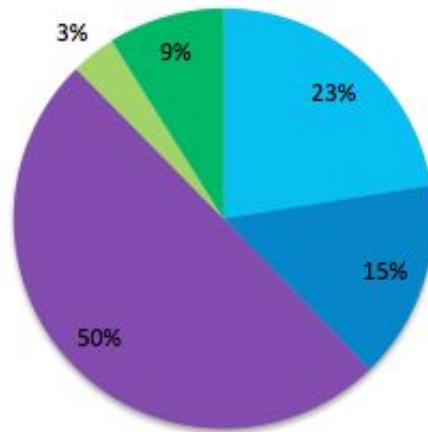
回答サンプル数：351

アンケートまとめ

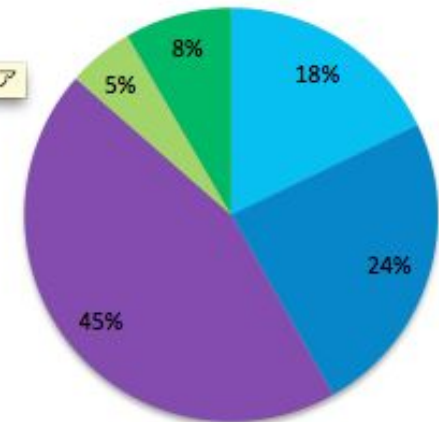
ゴミ問題解決としてよく知られている行動



ゴミ問題解決のためによく行われている行動



ゴミ問題解決に1番有効だと考えられる行動



グラフ エリア

凡例

リユース リデュース リサイクル リペア リフューズ

Agenda

1. 問題提起
2. 筑波大学ゴミ現状
3. 筑波大生のゴミ認識
4. 調査目的と内容
5. 今後の取り組み



仮説②の検証

同調意識を刺激させる仕組み
→同調性を活用したポスターを掲示することでReduceの具体的な内容を知ってもらう

掲示ポスター一案

出したごみに責任は取れますか？

リサイクルは万能じゃない



ゴミを生み出さないことを考えよう！

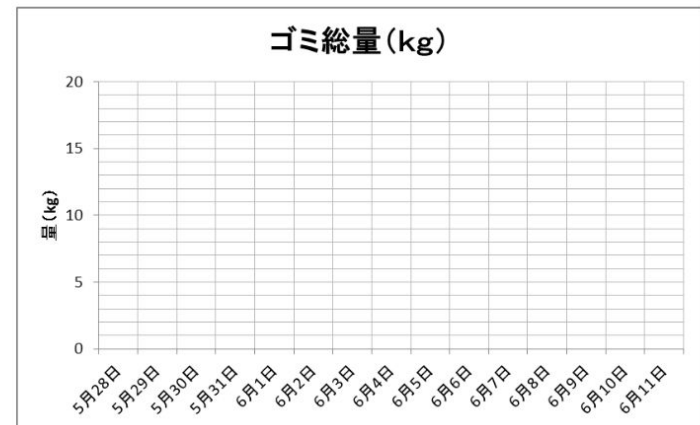
Lets Refuse

方法

マイボトルでペットボトルをRefuse

・
・
・

学内のごみ こんなにでてるの？



みんなで減らそう！

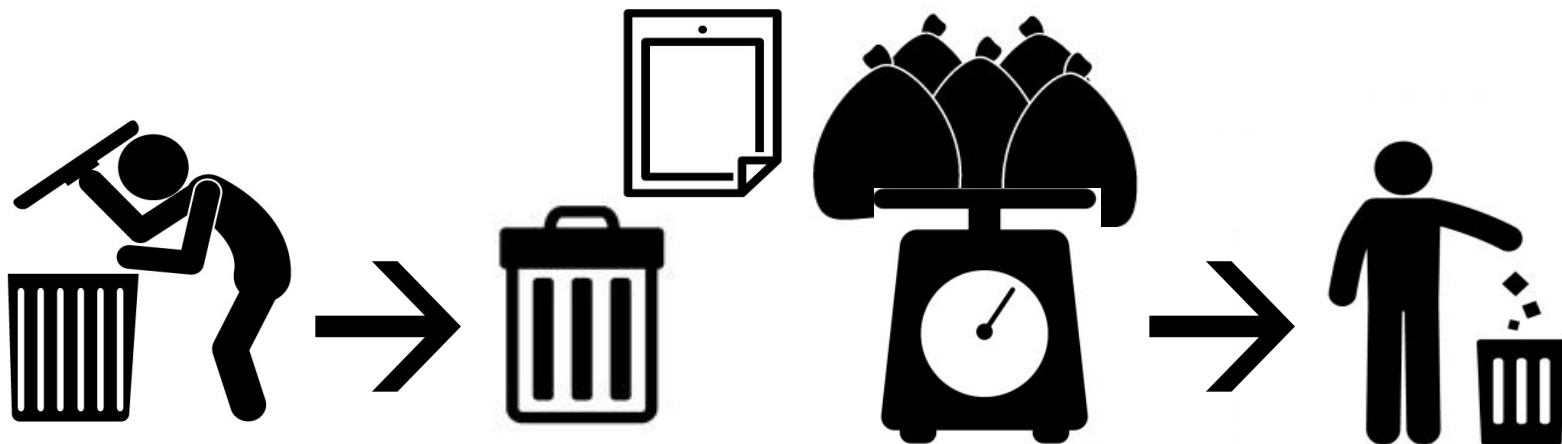
個人目標
1日 ペットボトル1本

0gの削減に！！

方法

のどが乾いたら食堂の冷水器！
マイボトルに飲み物を入れよう！

仮説2の検証



①

一定期間のゴミ
の量を調べる
(第3学群棟8つ)

②

同調意識を刺激
させる取り組み
(全員で目標を達成する)

③

アクション前の
ゴミの量と比較

参考文献

- ・環境問題を知ろう

http://www.chikyumura.org/environmental/earth_problem/waste_problem.html

- ・筑波大学環境報告書2017

<http://www.tsukuba.ac.jp/community/environment/pdf/tsukubaer2017.pdf>

- ・筑波大学「エコステーション」プロジェクトfacebook

https://www.facebook.com/miniecostatkb/?ref=page_internal

- ・筑波大学HP「筑波大学の環境への取り組み」

http://environment.sec.tsukuba.ac.jp/campus/eco_station.php

- ・NHK「クローズアップ現代」

<http://www.nhk.or.jp/gendai/articles/4126/index.html>

ご清聴ありがとうございました